

2012年度関西学生バスケットボールリーグ戦

男子 1部リーグ戦		勝者チーム				敗者チーム																
試合日	2012.09.17	京都産業大学 88 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td rowspan="4" style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">{</td> <td>20</td><td>-</td><td>4</td></tr> <tr><td>17</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>26</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>25</td><td>-</td><td>37</td></tr> </table> 77				{	20	-	4	17	-	18	26	-	18	25	-	37	同志社大学			
{	20						-	4														
	17						-	18														
	26	-	18																			
	25	-	37																			
開始時間	16:40	勝ち点4				勝ち点5																
会場	立命館大学体育館	コート				コート																
試合NO	135																					

戦評
 大会7日目、最終試合は昨年の王者京都産業大学と現在未だ一敗と波に乗っている同志社大学の京都府どうしの対決となった。立ち上がりから京産大は、同志社のキーマン#0田野に厳しいマークをつけ、前半で20点以上のリード奪い、その後同志社も立て直し11点差まで詰めた。同志社は京産大主将#14岩田の魂のこもったプレーに手を焼き、京産大の15点差のリードで前半を終える。後半、同志社はディフェンスを変え、攻略を図るが京産大のベンチメンバーの活躍が光り、23点差をつけた。同志社はオールコートプレスを仕掛けボールを奪い、同志社#53荒谷が、この日6本目の3Pシュートを決め9点差まで差を縮めたが、京産大は#33福島のダンクやフリースローで加点し、再びリードを広げた。諦めない同志社はファウルゲームに持ち込むが、プザーが会場になり響き、88-77の11点差で試合終了。この日最大の興奮を観衆に与えた。この試合で見せた最後まで諦めない同志社の選手の姿は感動的であった。第1ピリオド、京産大ボールで始まり、#12森岡のリバウンドシュートで試合がスタートする。開始3分でチームファウルがたまった同志社のインサイドを果敢に攻め、リード奪う。一方苦しくなった同志社は得意の速い展開に持ち込むが、シュートが決まらず我慢が続く。高きで有利に立つ、京産大は徹底的にインサイドを攻め、#12森岡#33福島のツインタワーが猛威を振るい流れを掴み、#14岩田の速攻と3Pシュートが決まり、20-4と大量リード奪った。第2ピリオド、勢いに乗る京産大は#67大八木、#14岩田のシュートで連続得点を奪う。対する同志社は#2石川のフリースローで久しぶりの得点を決めたが、京産大の勢いを止めることができない。同志社#0田野は厳しいマークに遭い、思うようなプレーをさせてもらえないが、#16岩田のシュート#2石川の速攻で立て直し、徐々にペースを取り戻す。その後も固い守りで京産大得点を止め、残り4:20で29-18と点差を詰めたが、京産大#12森岡にゴール下、#14岩田にバスケットカウント決められ、再び点差を広げられてしまう。結局点差を詰めることができず、37-22で前半を終えた。第3ピリオド、京産大#12森岡#14岩田の速攻でスタート。一方同志社はゾーンで守り#0田野の連続3Pシュートで対抗したが、京産大#44丹羽の3Pシュート、#14岩田の速攻と3Pシュートで流れを渡さない。同志社はマンツーマンに戻し#11田村#53荒谷を投入するが、京産大#44丹羽が3Pシュートを決め22点差とリードを広げる。終盤、同志社#53荒谷が3Pシュートを決めるが、京産大#66吉岡、#44丹羽のシュートで23点差をつけてこのピリオドを終えた。第4ピリオド、追い詰められた同志社は#2石川の連続シュート、#53荒谷の3連続3Pシュートで14点差に詰め、ターンオーバーが連続した京産大がタイムアウトを請求。その後、京産大はオールコートプレスを上手く攻略し、再びリード奪う。しかし、同志社#11田村のドライブや#15谷口のシュート、#0田野の3Pシュートで10点差に詰める。その後京産大は#33福島のダンク、同志社#53荒谷の3Pシュートで9点差に詰めるが、ファウルがたまった同志社はフリースローで点差を広げられてしまう。同志社#15谷口のガッツ溢れるプレーで最後まで諦めず戦ったが、前半の点差が響き、88-77で京産大が勝利を手にした。

主審	黒岡 和哲	副審	永山 忠利	戦評	田中 一輝(天理大)
記録	関西学生バスケットボール連盟				

No.		S	選手名		PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	MIN
			成功	試投	成功	試投	成功	試投				OR	DR	TOT						
11	*		石川	琢己	3	0	1	1	5	1	2	0	0	4	4	5	4	0	0	29
12	*		森岡	裕大	13	0	0	6	10	1	1	2	4	4	8	1	1	0	2	28
14	*		岩田	良介	27	2	8	6	8	9	10	3	0	4	4	6	0	1	0	36
33	*		福島	樹	10	0	0	5	14	0	1	2	4	3	7	0	0	0	2	30
67	*		大八木	蒼之	12	0	0	4	7	4	6	3	4	3	7	1	0	0	0	26
37			大西	孝信	2	0	1	0	0	2	4	2	0	0	0	0	4	0	0	13
44			丹羽	基貴	18	3	8	2	4	5	8	1	0	2	2	1	2	0	0	30
66			吉岡	大和	3	0	0	1	4	1	2	1	1	1	2	2	0	0	0	7
					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach			村上 和之																	
合計					88	5	18	25	52	23	34	14	15	32	47	16	11	1	4	200
			RATE		27.8%		48.1%		67.6%											

No.		S	選手名		PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	MIN
			成功	試投	成功	試投	成功	試投				OR	DR	TOT						
0	*		田野	司	18	3	11	4	6	1	2	4	1	1	2	4	7	0	0	40
2	*		石川	賢太	16	0	0	7	15	2	2	5	1	5	6	1	1	0	0	29
15	*		谷口	淳	8	0	0	4	12	0	1	5	4	11	15	4	3	1	0	39
16	*		岩附	孝興	2	0	1	1	5	0	0	4	3	2	5	4	0	0	0	20
28	*		山本	晃佑	5	0	0	2	7	1	2	3	1	0	1	1	0	0	1	19
7			岸本	将也	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	1	1	0	0	0	1
11			田村	翔	4	0	2	2	3	0	2	2	1	0	1	1	2	0	0	19
17			東	拓哉	0	0	1	0	2	0	0	2	1	1	2	0	0	0	0	9
29			川武	雅貴	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
37			仲西	佑起	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
53			荒谷	優斗	24	8	16	0	1	0	1	2	1	1	2	1	0	0	0	20
					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach			尾前 光昭																	
合計					77	11	33	20	52	4	10	31	21	29	50	18	13	1	1	200
			RATE		33.3%		38.5%		40.0%											